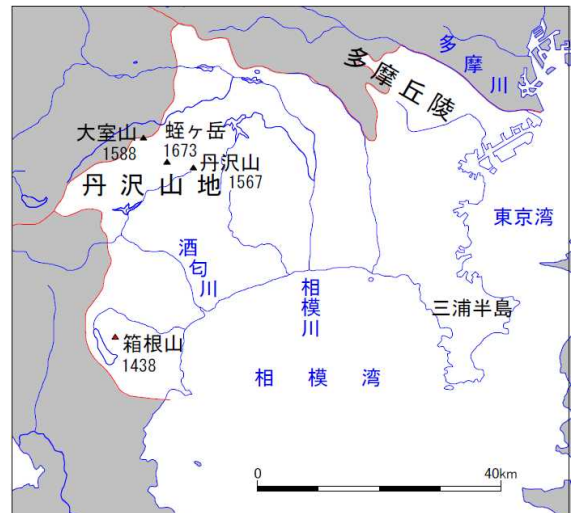
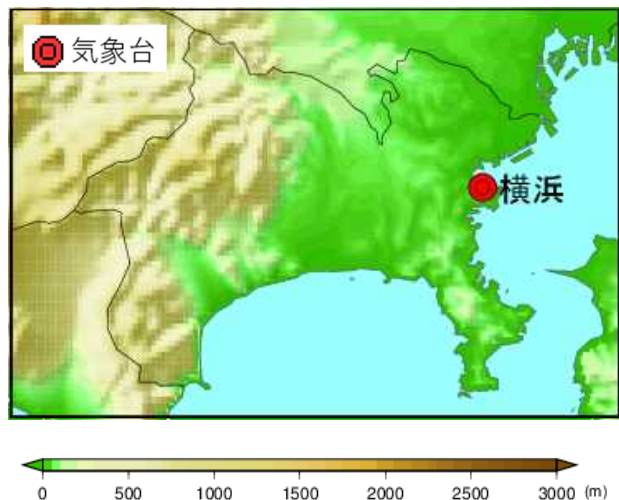


神奈川県



神奈川県の地勢

神奈川県は関東地方の南西部に位置し、北側から西側にかけては東京都と山梨県、静岡県に接する一方、南側は相模湾に、東側は東京湾に面している。県の大きさは、東西約 78km、南北約 60km で、面積は 2,416km² (全国第 43 位) で 5 番目に小さい県である。

神奈川県は地形によって大きく次の 3 つの地域に分けることができる。多摩丘陵と三浦半島の丘陵地形からなる東部の丘陵地域と、^{たんざわさんち}丹沢山地と箱根火山による起伏の激しい山地が多い西部と、相模川を中心に東部から西部にまたがって広がる平坦な段丘と低地からなる地域である。

県内の最高峰は^{ひるがだけ}蛭ヶ岳 (標高 1,673m) で、川の長さは県中央を流れる相模川が最も長く、西方には^{さかわがわ}酒匂川がある。また、東京都との境には多摩川が流れている。

神奈川県の気候

神奈川県は太平洋岸気候区に属し、夏季は多雨多湿、冬季は少雨乾燥という特徴を持つ。県東部の三浦半島は、東京湾と相模湾に面しているため、暖流の影響を受け温暖な海洋性の気候の性質を持っている。

また、神奈川県の気候は温暖と云われている。これは県西部の丹沢や箱根の山々が大きな壁の役目をして冷たい北風を防ぐ一方、太平洋側から

は温かい空気が流れ込むためと考えられる。

4 月から 5 月にかけて、移動性高気圧に覆われて放射冷却が効いた場合は、西部の山沿いでは明け方の気温が下がり、晩霜(おそ霜)^{*}の被害も発生することがある。

降水量は秋雨・台風や梅雨の時期を中心に多い。秋になると台風が南海上から北上して、日本付近を通過するようになる。このとき秋雨前線があると、その前線の活動が激しくなり、大雨になることがある。過去に顕著な風水害をもたらした台風はこの時期のことが多い。なお、3 月頃には本州の南岸を通る低気圧の影響を受け、“春の雪”となることもある。

^{*} 晩春から初夏にかけての霜

地形データには USGS (アメリカ地質調査所) の GTOPO30 を利用した。